

# 6号機は発電を開始しました

※2月19日現在の情報のため、最新情報は「柏崎刈羽原子力発電所 情報ポータル」をご確認ください。

## タービン起動、発電機を送電系統に接続

- 2月15日午後7時10分に、原子炉内の蒸気を用いてタービンを起動
- タービン起動後、回転数を1,500回転/分（定格回転数）まで上昇させ、異音・振動の有無など、タービンの健全性を確認
- その後、2月16日午前2時55分に、発電機を送電系統へ接続（発電開始）
- 2月18日午前0時33分、発電機出力約50%に到達

発電機並列の様子は動画でご覧いただけます



<タービン健全性確認の様子>



<発電開始（中央制御室）>



最新情報はこちら

「柏崎刈羽原子力発電所 情報ポータル」



▲二次元コードからご覧いただけます。

## 6号機 営業運転までの主な工程

▼2月9日 起動

▼2月20日から2月下旬予定

▼3月18日予定

原子炉起動  
(制御棒引き抜き)



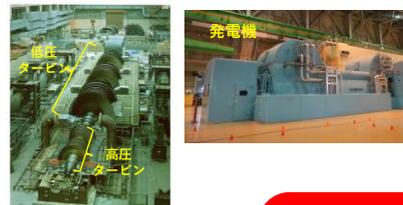
総合  
負荷性能  
検査

- ※1 発電機並列：原子炉で発生させた蒸気によりタービンと発電機を回転させて発電し、送電系統に電気を送れる状態にすること
- ※2 発電機出力：発電機が作る電気の量
- ※3 中間停止：原子炉起動の過程における温度・圧力の変化や設備の運転による異常の有無などを確認する健全性確認を実施
- ※4 熱出力：原子炉が作り出す熱エネルギー

### <タービン起動および発電機並列の健全性確認>

#### ■ タービン起動

- 原子炉内の蒸気を高圧タービンおよび低圧タービンに送り、タービンが回転
- タービンの回転数を「1,500回転/分（定格回転数）」まで上昇させ、異音・振動の有無など、発電していない状態でのタービンの健全性を確認



#### ■ 発電機並列

- 発電機を試験的に送電系統へ接続（仮並列）し、発電機出力を定格電気出力の約20%（約27万kW）まで徐々に上昇させ、発電機の運転状態を確認
- その後、一度送電系統から切り離し（発電機出力を0%に下げる）、タービン保護装置の健全性確認として、タービンの回転を定格回転数以上に上昇させ、自動でタービンが緊急停止することを確認（タービン過速度トリップ試験）
- 再度、発電機を送電系統へ接続（本並列）し、発電機出力を定格電気出力の約50%（約68万kW）まで徐々に上昇させ、発電機の運転状態を確認

